

令和4年度事業報告

I 総則

公益社団法人東京ビルメンテナンス協会定款第4条（事業）に規定する各号（表側）と公益等区分（表頭）に従って、令和4年度に実施した事業を以下のとおり分類した。

（公益区分と定款事業）

公益等区分 定款第4条	第1 建築物の環境衛生の向上に関する事業	第2 犯罪の防止・治安の維持、災害の防止に関する事業	第3 建築設備機器の事故の防止に関する事業	第4 普及啓発・活用の事業	第5 収益等その他の事業
	（公1）	（公2）	（公3）	（公4）	（共益・収益事業）
1 調査及び 研究の事業	1 実態調査研究	1 実態調査 2 見学会	1 調査研究 2 見学会 3 他地区協会情報交換会		1 海外研修視察 2 公的助成金等周知 3 要望活動
2 教育及び 訓練の事業	1 研修・講習会 2 参考書籍・研修教科書の作成	1 講習会 2 参考書籍・研修教科書の作成 3 法改正・関係資料送付	1 研修・講習会 2 保全セミナー 3 参考書籍・講習会資料の作成	1 労働安全研修・講習会	1 労務関係講習 2 労務参考図書作成 3 経営研究セミナー 4 法改正・関係資料送付
3 育成の事業				1 相談事業 2 採用等支援事業 3 社会貢献事業 4 品質改善事業 5 労働安全衛生推進事業	1 賃金・契約改定状況周知 2 業界概括調査
4 普及啓発と活用の事業				1 広報誌発行 2 業界・協会PR活動 3 協会ホームページ充実 4 こども絵画コンクール 5 ビルメンテナンスフェアTOKYOの開催	1 各種広報
5 その他の目的達成に必要な事業	1 関係行政機関等連絡 2 法改正・関係資料送付 3 専門委員派遣	1 関係行政機関等連絡 2 専門委員派遣	1 専門委員派遣		1 文化スポーツ親睦事業 2 防災対策 3 ビルメンテナンス会館管理運営事業 4 広聴活動 5 新年賀詞交歓会 6 表彰事業 7 役員・委員の集い 8 福利厚生事業 9 名簿等作成 10 役員候補審査事項 11 協会周年事業

Ⅱ 令和4年度に実施した事業報告

第1 建築物の環境衛生の向上に関する事業

【1 調査及び研究の事業】

1-1-1 実態調査研究の実施<建築物衛生管理委員会>

【令和4年度事業計画】

次の実態調査研究を実施する。

(1) 清掃状況の「見える化」に関する調査

継続

清掃現場における作業方法や資機材を選択する際の検討材料とするため、計測器を使用した清掃状況の「見える化」として、汚れの種類別、清掃方法別での数値の違いなどを調査し、報告書を作成する。

(2) 洗剤同士の混合事故防止に向けた印刷物の作成

継続

洗剤の別容器移し替え時に、誤って別の洗剤を補充し塩素ガスが発生した事例もあるため、洗剤容器の中身の「見える化」として、中身が明記できる印刷物を作成する。

次の調査研究を実施した。

- (1) 計測器を使用し、複数の現場で作業方法の組み合わせを変えて汚れの数値比較を行い、調査結果をまとめた報告書を1,300部作成した。

○計測期間：令和4年8月～10月

○成果物：『清掃状況の「見える化」に関する調査報告書～作業方法別での数値比較～』
(A4版38ページ)

- (2) 洗剤同士の混合事故防止に向け、液性を色分けにより区別できるシールを1,300部作成した。

【2 教育及び訓練の事業】

1-2-1 研修・講習会の実施<建築物衛生管理委員会>

【令和4年度事業計画】

清掃作業従事者の技能向上や人材育成及び新しい清掃技法や資機材紹介のため、次の講習会等を実施する。また、併せて講習会等で使用する資機材の整備のほか、指導講師の育成等も実施する。

(1) 従事者研修

ア 清掃作業従事者研修 Aコース（認定職業訓練 1回12時間） 年6回

イ 清掃作業従事者研修 Bコース（1回7時間） 年2回

ウ 貯水槽清掃作業従事者研修 年1回

エ 建築物ねずみ等防除作業従事者研修 年1回

(2) 専門講習 年20回

(3) セミナー 年1回

(4) 研修資機材の整備

(5) 研修会講師の育成等

(1) 従事者研修及び(2) 専門講習

各種清掃技法の習得や清掃技術の向上のため、従事者研修や専門講習を実施した。

受講者数は前年度と比べ194名増加し、684名であった。

講習会の実施状況

区 分	年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数(名)			受講会社数(社)		
				会員	一般	合計	会員	一般	合計
A コース	4年度	6	6	85	78	163	54	55	109
	3年度	6	5	83	36	119	47	26	73
	増減	0	1	2	42	44	7	29	36
B コース	4年度	2	2	37	13	50	26	9	35
	3年度	2	1	14	10	24	8	7	15
	増減	0	1	23	3	26	18	2	20
貯水槽清掃作業 従事者研修	4年度	1	1	17	7	24	8	5	13
	3年度	1	1	16	5	21	5	4	9
	増減	0	0	1	2	3	3	1	4
建築物ねずみ等 防除作業従事者 研修	4年度	1	1	11	9	20	5	4	9
	3年度	1	0	0	0	0	0	0	0
	増減	0	1	11	9	20	5	4	9
専門講習	4年度	20	20	329	98	427	210	85	295
	3年度	20	18	258	68	326	163	61	224
	増減	0	2	71	30	101	47	24	71

講習会全体の対前年度実績比較

年 度	計画(回)	実施(回)	受講者数(名)			受講会社数(社)		
			会員	一般	合計	会員	一般	合計
4年度	30	30	479	205	684	303	158	461
3年度	30	25	371	119	490	223	98	321
増 減	0	5	108	86	194	80	60	140

(3) セミナー

汚れを数値化できるATP測定器を使用した調査研究の活動報告を中心に、測定器の導入事例や清掃業務の改善方法などについて情報提供を行うセミナーを実施した。

○開催日：令和4年7月14日(木)

○テーマ：清掃の見える化ー特に衛生管理と改善対策についてー

○講 師：調査研究小委員会 正田 浩三 氏

○参加数：130名

(4) 研修資機材の整備

各講習会で使用するカーペットスーパーや消耗品を購入した。

(5) 研修会講師の育成等

ア 協会講師による外部講習会の受講支援

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会で開催している感染制御衛生管理士認定講習会を協会講師が受講した。

イ 協会講師講習会の開催

協会講師を対象に講習会における指導内容の水準調整や指導力向上のため各種講習会を実施した。

- (ア) ○開催日：令和4年4月15日（金）
 - テーマ：清掃作業従事者研修Aコース実技
 - 講師：教育研修小委員会 担当講師
 - 参加数：19名
- (イ) ○開催日：令和4年5月20日（金）
 - テーマ：受講者のモチベーションを高めるポイント
 - 講師：株式会社インソース 中尾 恵美 氏
 - 参加数：26名
- (ウ) ○開催日：令和4年9月8日（木）
 - テーマ：ビルクリ1～3級実技最終確認講習
 - 講師：教育研修小委員会 担当講師
 - 参加数：14名

ウ 協会講師専用ユニフォームの製作
協会講師専用ユニフォームを製作した。

1-2-2 参考書籍・研修教科書の作成

【令和4年度事業計画】

次のテキスト作成等を行う。

- | | | |
|---------------------------------|----------------|----|
| (1) 『ビル清掃の基本と実務総合テキスト』を増刷する。 | <建築物衛生管理委員会> | |
| (2) 『1から学ぶ清掃マニュアル』を増刷する。 | <障がい者等自立支援委員会> | |
| (3) 『よくわかるビルクリーニング技能検定3級』を増刷する。 | <障がい者等自立支援委員会> | |
| (4) 『清掃お仕事紹介（仮）』チラシを作成する。 | <障がい者等自立支援委員会> | 新規 |
| (5) 『ヒヤリ・ハット事例集（仮）』を作成する。 | <労務管理委員会> | 新規 |

- (1) 『ビル清掃の基本と実務総合テキスト』を500部増刷した。
- (2) 『1から学ぶ清掃マニュアル』を1,000部増刷した。
- (3) 『よくわかるビルクリーニング技能検定3級』は在庫状況から増刷しなかった。
- (4) ビルクリーニング業を特別支援学校保護者等に周知するためのチラシを2,000部作成した。
- (5) 会員から寄せられた、重大災害につながる可能性があった危険な事象の報告を取りまとめた冊子『ビルメンテナンス業 ヒヤリ・ハット事例集』を1,500部作成した。

【5 その他目的達成に必要な事業】**1-5-1 関係行政機関・関係団体との連絡****<建築物衛生管理委員会、労務管理委員会、障がい者等自立支援委員会>****【令和4年度事業計画】**

関係諸法令の運用の解説等、講習会を充実させるため、東京都、一般社団法人東京ガラス外装クリーニング協会、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構等と連携を図り、情報交換・講師依頼等を進める。

<建築物衛生管理委員会>

関係諸法令の教育のため建築物ねずみ等防除作業従事者研修、清掃作業従事者研修指導者講習、貯水槽清掃作業従事者研修について東京都から講師を招き、法改正など行政の最新情報の提供を実施した。

<労務管理委員会>

ガラス清掃における災害事例や安全対策について、東京労働局、一般社団法人東京ガラス外装クリーニング協会と労務管理委員会との情報交換会を実施した。

○開催日：令和5年3月23日（木）

○参加数：10名

<障がい者等自立支援委員会>

独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京支部が主催する「第21回東京障害者技能競技大会」に協賛し、実施に協力した。

○開催日：令和5年2月18日（土）

○会場：東京障害者職業能力開発校

○出場選手数：22名

1-5-2 法改正及び関係資料の送付<建築物衛生管理委員会>**【令和4年度事業計画】**

法改正及び建管業務に関連した資料を会員に送付し、周知する。

建築物衛生業務に関連した情報を会員に周知した。

1-5-3 専門委員の派遣<建築物衛生管理委員会>**【令和4年度事業計画】**

関係団体等に専門委員を派遣し、業務の遂行に協力する。

公益財団法人東京しごと財団主催の「オフィスビルクリーニングスタッフ」講習に、延べ17名の講師を派遣した。

第2 犯罪の防止・治安の維持、災害の防止に関する事業

【1 調査及び研究の事業】

2-1-1 実態調査の実施＜警備防災委員会＞

【令和4年度事業計画】

次の調査研究を実施する。

警備・防災業務に関する実態調査

継続

警備・防災業務において活用するため、業界従事者の労働環境等についてデータを収集し、「防火・防災業務に関する実態調査」を実施する。

会員会社を対象に各社の円滑な防火管理業務運営の参考データとするため、最新の防災情報の伝播率や受託状況等について実態調査を実施した。

- 調査期間：令和4年6月～7月
- 回答率：39.3%
- 成果物：『防火・防災管理業務に関する実態調査報告書』

2-1-2 見学会の実施＜警備防災委員会＞

【令和4年度事業計画】

新しい知識を習得するために、最新の警備・防災施設及び設備機器等の見学会を実施する。

首都直下地震に対する最新の防災知識を得るため、防災設備の見学会を実施した。

- 開催日：令和4年9月16日（金）
- 見学先：東京臨海広域防災公園内 そなエリア
- 参加数：22名

【2 教育及び訓練の事業】

2-2-1 講習会の実施<警備防災委員会>

【令和4年度事業計画】

警備員の知識・能力向上のために、次の法定教育、講習会を実施する。

受講希望者の増減に対応するため「現任警備員教育」のうち「基本教育」は開催回数を1回減らし、「業務別教育（1号）」は1回増やす。

また、責任者クラスに対する教育を強化するため、防災講習会の上位向けである「ビル管理者のための非常時対応スキルアップ講習」を開催する。

その他、警備・防災業務に関係する情報を周知するため、警視庁や東京消防庁、専門団体等から講師を招き、会員ニーズや業界動向を踏まえたテーマでセミナーを実施する。

併せて講習会等において必要となる資機材の購入、修理、交換等を実施する。

(1) 新任警備員教育（認定職業訓練 1回21時間）		年21回
(2) 現任警備員基本教育講習（1回4時間）	縮小	年19回
(3) 現任警備員業務別教育（1号）講習（1回6時間）	拡大	年20回
(4) 現任警備員業務別教育（2号）講習（1回6時間）		年5回
(5) 初心者向け防火防災の基礎（1回5時間）		年2回
(6) 消防技術実技専門教育（1回5時間）		年2回
(7) 警備隊長・副隊長向け 現場統率スキルアップ講習（1回6時間）		年1回
(8) 現場管理者向け 非常時対応スキルアップ講習（1回6時間）	新規	年1回
(9) 警備防災関連セミナー		
(10) 研修資機材の整備		
(11) 研修会講師の育成等		

(1) から (8) の教育及び講習会

警備員に対する法定教育である「新任警備員教育」「現任警備員教育」、警備員現場隊長クラスを対象とした「警備隊長・副隊長向け現場統率スキルアップ講習」、消防・防災関連業務従事者を対象とした「初心者向け防火防災の基礎」「消防技術実技専門教育」、消防・防災現場管理者クラスを対象とした「現場管理者向け非常時対応スキルアップ講習」を実施した。

受講者数は前年と比べ422名増加し、2,425名であった。

講習会の実施状況

区 分	年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数 (名)			受講会社数 (社)		
				会員	一般	合計	会員	一般	合計
新任警備員 教育	4年度	21	21	279	61	340	198	47	245
	3年度	21	20	256	61	317	191	43	234
	増減	0	1	23	21	23	7	4	11
現任警備員 基本教育	4年度	19	19	791	122	913	329	60	389
	3年度	20	18	648	87	735	270	45	315
	増減	△1	1	143	35	178	59	15	74
現任警備員 教育 (1号)	4年度	20	20	899	128	1,027	388	59	447
	3年度	19	19	773	83	856	314	37	351
	増減	1	1	126	45	171	74	22	96
現任警備員 教育 (2号)	4年度	5	4	24	11	35	10	2	12
	3年度	5	4	30	3	33	14	2	16
	増減	0	0	△6	8	2	△4	0	△4
初心者向け 防火防災の 基礎	4年度	2	2	29	4	33	19	3	22
	3年度	2	2	23	1	24	12	1	13
	増減	0	0	6	3	9	7	2	9
消防技術実 技専門 教育	4年度	2	2	28	4	32	12	3	15
	3年度	2	1	19	1	20	10	1	11
	増減	0	0	9	3	12	2	2	4
警備隊長・副隊長 向け現場統率スキ ルアップ講習	4年度	1	1	29	0	29	17	0	17
	3年度	1	1	17	1	18	9	1	10
	増減	0	0	12	△1	11	8	△1	7
現場管理者向け 非常時対応スキ ルアップ講習	4年度	1	1	15	1	16	9	1	10
	3年度	—	—	—	—	—	—	—	—
	増減	—	—	—	—	—	—	—	—

講習会全体の対前年度実績比較

年 度	計画(回)	実施(回)	受講者数 (名)			受講会社数 (社)		
			会員	一般	合計	会員	一般	合計
4年度	71	70	2,094	331	2,425	982	175	1,157
3年度	70	65	1,766	237	2,003	820	130	950
増減	1	5	328	94	422	162	45	207

※希望者が少なかったため、次の講習会を1回中止した。

○現任警備員教育(2号)

(9) 警備防災関連セミナー

最新の警備・防災業界の知識を得るため、救命訓練や雑踏警備分析、不審者対応などをテーマに、次のセミナーを実施した。

ア 上級救命講習

- 開催日：令和4年8月3日（水）
- 講師：公益財団法人東京防災救急協会 担当講師
- 参加数：20名

イ 上級救命講習

- 開催日：令和4年11月14日（月）
- 講師：公益財団法人東京防災救急協会 担当講師
- 参加数：24名

ウ 警備最先端技術セミナー

- 開催日：令和4年11月28日（月）
- 講師：東京大学 先端科学技術研究センター 西成 活裕 氏
SEQSENSE株式会社 笹井 仁 氏
- 参加数：43名

エ テロ対策不審者対応セミナー

- 開催日：令和5年2月10日（金）
- 講師：警視庁 戸ヶ崎 裕紀 氏
警備防災委員会 坂本 友実 氏
- 参加数：59名

(10) 研修資機材の整備

講習会で使用する訓練用AEDなどの資機材や消耗品を購入した。

(11) 研修会講師の育成等

講習会で使用する資料の作成のために必要な書籍を購入し、講師の知識向上を支援した。

2-2-2 参考書籍・研修教科書の作成<警備防災委員会>

【令和4年度事業計画】

次のテキストを作成する。

『現場警備責任者のためのQ&A（仮）』

新規

警備業を行う会員から収集した50の疑問や質問を講師の回答とともに取りまとめた『現場警備員のためのQ&A』を1,400部作成した。

2-2-3 法改正及び関係資料の送付<警備防災委員会>

【令和4年度事業計画】

法改正及び警備業務に関連した資料を会員に送付し、周知する。

警備業務に関連した情報を会員に周知した。

【5 その他目的達成に必要な事業】

2-5-1 関係行政機関・関連団体との連絡協調＜警備防災委員会＞

【令和4年度事業計画】

警備・防災業務の適正な推進を図るため、警視庁、東京消防庁等の行政機関並びに一般社団法人東京都警備業協会及び公益財団法人東京防災救急協会等の関連団体と緊密な連絡をとり、情報交換を行う。

「新任警備員教育」における救急法指導について、公益財団法人東京防災救急協会から講師派遣を受けたほか、近年不審者による凶悪な事件が連続して発生したことを踏まえ、警視庁から講師を招きセミナーを開催した。

2-5-2 専門委員の派遣＜警備防災委員会＞

【令和4年度事業計画】

公益財団法人東京防災救急協会に評議員及び委員を派遣し、関係業務の遂行に協力する。

公益財団法人東京防災救急協会に評議員、委員を派遣し、防火防災関連の最新情報を得るとともに、関係業務の遂行に協力した。

第3 建築設備機器の事故の防止に関する事業

【1 調査及び研究の事業】

3-1-1 調査研究の実施＜建築物施設保全委員会＞

【令和4年度事業計画】

次の調査研究を実施する。

- (1) 設備員の教育方法についての調査研究

継続

社内教育での活用を目的に、初心者向けの設備点検に関するマニュアルを作成するため、教育方法について調査研究を行う。

- (2) 職場におけるチーム力向上のための調査研究

新規

職場のチーム力向上を目的に、円滑な業務遂行のために各社が実施している取り組みについて調査研究を行う。

次の調査研究を実施した。

- (1) 設備員の教育方法についての調査を実施し、設備管理業務初心者向けのビル設備（電気設備・空気調和設備・給排水衛生設備・防災設備）のテキストを作成した。

○成果物：『知っておきたい建物設備の知識』

- (2) 職場におけるチーム力向上のための取組みについてアンケート調査を行い、報告書を1,300部作成した。

○調査期間：令和4年10月～11月

○成果物：『職場におけるチーム力向上のための調査報告書』

3-1-2 見学会の実施<建築物施設保全委員会>

【令和4年度事業計画】

設備管理技術向上のため、新しいビルや大型施設等の見学会を実施する。

設備員の知識向上のため、都心の電力供給を支える大型設備の見学会を実施した。

○開催日：令和4年11月29日（火）

○見学先：東京電力パワーグリッド株式会社 銀座支社 永代橋事務所
永代橋変電所（中央区）

○参加数：19名

3-1-3 他地区ビルメンテナンス協会との情報交換会の実施<建築物施設保全委員会>

【令和4年度事業計画】

設備管理の課題を相互に出し合い、解決策を検討するために、一般社団法人大阪ビルメンテナンス協会との情報交換会を実施する。

一般社団法人大阪ビルメンテナンス協会設備保全部会と設備管理に関する情報交換会を開催し、活動報告や調査研究成果の発表、セミナーを実施した。

○開催日：令和4年10月28日（金）

○会場：ビルメンテナンス会館3階

○参加数：東京協会23名、大阪協会13名

○セミナー：第1部「近年のビル放火火災と風水害に学ぶ 災害発生への備えと対応」

講師 公益財団法人市民防災研究所 坂口 隆夫 氏

第2部「都市災害とビル管理～自然災害を考える～」

講師 技術専門委員会 松野 忍 氏

【2 教育及び訓練の事業】

3-2-1 研修・講習会の実施<建築物施設保全委員会>

【令和4年度事業計画】

設備員の技能向上、人材育成を図るため、次の講習会を実施する。

また、円滑な講習会運営のため、新規機材の購入、既存機材のメンテナンス等を実施するほか、協会講師の一層の能力向上を図るため、外部講習会受講の支援などを実施する。

- | | |
|---|------|
| (1) ビル設備管理の基礎 新人教育（認定職業訓練 1回5日間） | 年2回 |
| (2) 法定講習・電気取扱者安全衛生特別教育 | 年5回 |
| (3) 専門講習 拡大 | 年33回 |
| (4) 研修資機材の整備 | |
| (5) 研修会講師の育成等 | |

(1) から (3) の講習会等

設備員を対象に、設備管理（電気・空調・給排水等）に関する必要な知識・技術のほか関係法令を指導教育するための講習会を実施した。

受講者数は前年度と比べ445名増加し、1,083名であった。

講習会の実施状況

区 分	年度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数 (名)			受講会社数 (社)		
				会員	一般	合計	会員	一般	合計
設備管理の基礎(新人教育)	4年度	2	2	42	14	56	26	10	36
	3年度	2	2	39	7	46	24	5	29
	増減	0	0	3	7	10	2	5	7
高圧・特別高圧電気取扱者 安全衛生特別教育	4年度	3	3	61	9	70	34	3	37
	3年度	3	2	27	2	29	20	1	21
	増減	0	1	34	7	41	14	2	16
低圧電気取扱者 安全衛生特別教育	4年度	2	2	32	5	37	21	4	25
	3年度	2	2	25	6	31	16	5	21
	増減	0	0	7	△1	6	5	△1	4
専門講習	4年度	33	33	827	93	920	495	71	566
	3年度	32	25	490	42	532	293	32	325
	増減	1	8	337	51	388	202	39	241

講習会全体の対前年度実績比較

年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数 (名)			受講会社数 (社)		
			会員	一般	合計	会員	一般	合計
4年度	40	40	962	121	1,083	576	88	664
3年度	39	31	581	57	638	353	43	396
増減	1	9	381	64	445	223	45	268

(4) 研修資機材の整備

ア 二酸化炭素消火設備の模擬パネルや消耗品を購入した。

イ 実技講習会の紹介のため、動画「受電盤、動力・電灯変圧器盤研修」、「電気測定器の使い方」を作成した。

(5) 研修会講師の育成等

講習会で必要な書籍を提供し、講師の知識向上を支援した。

3-2-2 保全セミナーの開催<建築物施設保全委員会>

【令和4年度事業計画】

新しい知識をビル設備管理業務に活かすため、セミナーを実施する。

(1) ビルメンテナンス企業の事業継続力を向上させるための取組みについての情報提供を行うセミナーを実施した。

○開催日：令和5年2月6日(月)

○テーマ：ビルメン企業に求められるBC(事業継続)への取組み

○講 師：一般財団法人防災教育推進協会 秦 好子 氏

東急プロパティマネジメント株式会社 BC研究センター 担当者

○参加数：31名

(2) 『知っておきたい建物設備の知識』の発行にあわせ、電気設備と排水設備の日常点検で注意すべきポイントや事故事例等についての情報提供を行うセミナーを実施した。

○開催日：令和5年3月29日(水)

○テーマ：電気設備と給排水設備の維持管理と事故事例に学ぶ

- 講師：一般財団法人関東電気保安協会 小栗 孝弘 氏、栗原 正和 氏
 東京都下水道局 星 陽平 氏
 技術専門委員会 五十嵐 恒二 氏
- 参加数：53名

3-2-3 参考書籍・講習会資料の作成＜建築物施設保全委員会＞

【令和4年度事業計画】

次のテキストを作成する。

(1) 『設備点検マニュアル（仮）』の作成

継続

(2) 『設備管理責任者のための業務マニュアル』の改訂

継続

(1) 『設備点検マニュアル（仮）』の作成

設備管理初心者向けの設備点検に関するテキスト『知っておきたい建物設備の知識』を1,500部作成した。

(2) 『設備管理責任者のための業務マニュアル』の改訂

新たな項目「責任者の引継ぎのポイント」の追加や各種法令等の改正など、全面的に内容をリニューアルした改訂版を1,400部作成した。

【5 その他目的達成に必要な事業】

3-5-1 専門委員の派遣＜建築物施設保全委員会＞

【令和4年度事業計画】

関連団体に専門委員を派遣し、業務の遂行に協力する。

関東地区電気使用合理化委員会に、引き続き建築物施設保全委員会委員長を派遣した。

第4 普及啓発・活用の事業

【2 教育及び訓練の事業】

4-2-1 労働安全研修・講習会の実施<労務管理委員会>

【令和4年度事業計画】

ビルメンテナンス業の労働安全衛生向上のために、各種の講習会を実施する。

(1) 危険予知訓練（KYT）講習	年4回
(2) リスクアセスメント講習	年2回
(3) 安全管理者選任時講習	年1回
(4) 衛生管理者試験対策講習	年1回
(5) 労働安全衛生関係講習会・セミナー 縮小	年2回

(1) 危険予知訓練（KYT）講習

現場従事者の危険感受性を向上させ、ヒューマンエラーの防止等に大きな効果がある危険予知訓練（KYT）の講習を実施した。

危険予知訓練（KYT）講習実施状況

年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数（名）			受講会社数（社）			講師
			会員	一般	合計	会員	一般	合計	
4年度	4	4	53	3	56	29	2	31	中央労働災害 防止協会講師
3年度	4	4	46	0	46	19	0	19	同上
増減	0	0	7	3	10	10	2	12	—

(2) リスクアセスメント講習

改正労働安全衛生法により、危険性又は有害性等の調査等（リスクアセスメント）の実施が努力義務化されたことに鑑み、業界のリスクアセスメントの普及啓発を目指した講習を実施した。

リスクアセスメント講習実施状況

年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数（名）			受講会社数（社）			講師
			会員	一般	合計	会員	一般	合計	
4年度	2	2	36	2	38	16	1	17	AT労働コンサル タント事務所 高橋 明彦 氏
3年度	2	2	24	0	24	14	0	14	同上
増減	0	0	12	2	14	2	1	3	—

(3) 安全管理者選任時講習

常時50人以上の労働者を使用する事業場にて安全管理者の選任が必須であり、業界の資格者拡充と各社の教育の補助を目的とした講習を実施した。

安全管理者選任時講習実施状況

年 度	計画 (回)	実施 (回)	受講者数 (名)			受講会社数 (社)			講師
			会員	一般	合計	会員	一般	合計	
4年度	1	1	11	0	11	9	0	9	労務管理委員会 委員
3年度	1	1	11	0	11	9	0	9	同上
増減	0	0	0	0	0	0	0	0	—

(4) 衛生管理者試験対策講習

常時50人以上の労働者を使用する事業場にて衛生管理者の選任が必須であり、業界の資格者拡充と各社の教育補助を目的とした講習を実施した。

○開催日：令和4年8月4日（木）、5日（金）（2日間講習）

○講 師：一般社団法人こころ一ど 吉藤 正隆 氏

○参加数：17名

(5) 労働安全衛生関係講習会・セミナー

労働安全衛生水準の一層の向上を図り、職場における安全の確保と労働災害撲滅のため、法改正への取組み方や指導方法などの情報提供を行うセミナーを実施した。

ア ロープ高所作業 管理者教育セミナー

○開催日：令和4年6月17日（金）

○講 師：一般社団法人東京ガラス外装クリーニング協会 百合野 毅 氏、千田 健一郎 氏

○参加数：48名

イ ビルメンテナンス業のための新たな化学物質管理セミナー

○開催日：令和5年2月21日（火） ※オンライン併用

○講 師：東京労働局 金内 歩 氏

シーバイエス株式会社 菅沼 剛 氏

○参加数：80名（会場30名、配信50名）

【3 育成の事業】

4-3-1 相談事業の実施<広報委員会>

【令和4年度事業計画】

ビルメンテナンス業務に関連した経営上の多様な問題解決に資するため、労務管理、経営、法律、品質改善活動等の相談を受け付け、専門家によるアドバイス等を行う。

次の相談事業を実施した。

○相 談 内 容：労働法令関係、人事労務関係、設備保全関係等

○相 談 件 数：4件

○広報誌掲載：10回（何でも相談コーナー）

掲載号・相談員名及びタイトル

掲載号	相談員名	タイトル
4月号	金丸 大二 (特定社会保険労務士)	事業承継、後継者難、M&Aと労働者保護
5月号	江村 利明 (弁護士)	改正債権法による「時効障害事由」の整理等について
6月号	北山 克己 (建築物環境衛生管理技術者)	人材育成における指導の難しさ
7月号	中辻 一裕 (中小企業診断士)	行動経済学 ^⑭ 先延ばし
10月号	坂 康夫 (技術士)	「世の中は【結果】が全てだ！」それ本当ですか？
11月号	石井 泰幸 (税理士)	社宅と住宅手当
12月号	金丸 大二 (特定社会保険労務士)	最低賃金の再チェック
1月号	江村 利明 (弁護士)	公益通報者保護法の改正について
2月号	北山 克己 (建築物環境衛生管理技術者)	障がい者の技能向上を目指して
3月号	中辻 一裕 (中小企業診断士)	行動経済学 ^⑮ 清掃に関するナッジ

4-3-2 採用等支援事業の実施<広報・経営研究委員会>

【令和4年度事業計画】

ビルメンテナンス業界の喫緊の課題である人材確保と育成・定着支援、雇用環境整備支援として、次の事業を実施する。

- (1) 各種セミナーの実施
- (2) 業界特化型求人サイトの運営

(1) 人手不足対策セミナーの実施

今年度は人手不足対策として求人サイトの広報等を中心に進めたため、セミナーは開催しなかった。

(2) 業界特化型求人サイトの運営

会員への支援を強化するため、賛助会員である株式会社アイデムと連携して求人サイト「東京ビルメンお仕事さがし」を運用し、Indeed等の求人検索エンジンに表示されるようにしている。

○登録社数：125社（79社） ※（ ）内は令和3年度実績

○求人掲載数：312件（147件）

○年間応募数：747件（625件）

4-3-3 社会貢献事業<障がい者等自立支援委員会>

【令和4年度事業計画】

次の事業を実施する。

<障がい者就労支援事業>

- (1) 清掃現場体験指導（企業での清掃作業現場体験）の実施
都内特別支援学校生徒等の清掃現場体験指導（企業での清掃作業現場体験）を実施する。 縮小 年15回
- (2) 障がい児（者）に対する自立支援事業
都内各特別支援学校を訪問し、児童、生徒に対する指導研修等を行う。 年40回
- (3) 研修・講習会の実施
障がい者の清掃技能の向上のため、次の研修等を実施する。
 - ア 障がい者清掃作業指導員研修
障がい者清掃作業指導員コース（認定職業訓練 1回12時間） 年1回
 - イ 障がい者清掃作業従事者研修
 - ①よくわかる床清掃講習 新規 年1回
 - ②よくわかるガラス清掃講習 新規 年1回
 - ③よくわかるトイレ清掃講習 新規 年1回
 - ④よくわかる総合清掃講習（床・ガラス・トイレ） 新規 年1回
 - ウ 研修資機材の整備
 - エ 研修会講師の育成等
- (4) セミナーの開催
障がい者雇用に対する企業の理解を深めるためのセミナー等を行う。 年1回

<障がい者就労支援受託事業等>

- (1) 東京都教育庁主催の知的障害特別支援学校生徒を対象とした清掃技能検定への協力
東京都からの依頼に基づき、清掃技能検定に審査員を派遣する。 拡大 年6回

<障がい者就労支援事業>

- (1) 清掃現場体験指導（企業での清掃作業現場体験）の実施
都内特別支援学校生徒の自立支援のため、企業での清掃現場体験指導を実施した。

体験指導実施状況

年 度	計画（回）	実施（回）
4年度	15	5
3年度	25	5
増減	△10	0

- (2) 障がい児（者）に対する自立支援事業

都立知的・聴覚障害特別支援学校高等部生徒を対象とした自立と就労支援、小・中学部生徒を対象とした家庭でできる清掃の基礎指導等のため、特別支援学校に講師を派遣した。

講師派遣実施状況

年 度	計画 (回)	実施 (回)	派遣数 (回)		
			清掃検定対策指導	清掃親子教室	校内日常清掃
4年度	40	41	19	15	7
3年度	30	28	15	13	—
増減	10	13	4	2	—

(3) 研修・講習会の実施

ア 障がい者清掃作業指導員研修（障がい者清掃作業指導員コース）

障がい者を雇用している又は雇用を予定している企業の清掃責任者等の養成のため、障がい者従業員への指導方法等の研修を実施した。

○開催日：令和4年10月18日（火）、19日（水）（2日間講習）

○参加数：13名

イ 障がい者清掃作業従事者研修

ビルメンテナンス業界で働く障がい者を対象に、スキルアップとモチベーションの維持向上のため、基礎的な清掃技術の研修を実施した。

（ア）よくわかる床清掃講習

○開催日：令和4年5月25日（水）

○参加数：8名

（イ）よくわかるガラス清掃講習

○開催日：令和4年6月28日（火）

○参加数：7名

（ウ）よくわかるトイレ清掃講習

○開催日：令和4年7月13日（水）

○参加数：5名

（エ）よくわかる総合清掃講習（床・ガラス・トイレ）

○開催日：令和4年8月4日（木）

○参加数：5名

ウ 研修資機材の整備

指導の充実を図るため、講習会等に使用する消耗品を購入した。

エ 研修会講師の育成等

全国アビリンピック出場選手を模範演技者として、アビリンピック課題の勉強会を実施した。

○開催日：令和4年8月22日（月）

○参加者：委員5名 出場選手1名

(4) セミナーの開催

ア 障がい者就労支援セミナー

業界における障がい者雇用促進のため、セミナーを開催した。

○開催日：令和4年7月19日（火）

○テーマ：「精神障がいのある方の採用・雇用管理オンラインセミナー」

○講 師：独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構東京障害者職業センター

森田 萌 氏

○参加者：37名

イ 障がい者雇用の現場見学会

特別支援学校保護者・生徒を対象に、実際の清掃現場を知ってもらうため、見学会を実施した。

- 開催日：令和4年8月26日（金）
- 見学先：太平ビルサーブ株式会社東京支店
- 参加数：12名（保護者7名、生徒5名／4校）

<障がい者就労支援受託事業等>

(1) 東京都教育庁主催の知的障害特別支援学校生徒を対象とした清掃技能検定への協力

東京都教育庁主催の特別支援学校教員や障害者学級教員を対象とした清掃研修と、知的障害特別支援学校生徒を対象とした清掃技能検定へ審査員を12回派遣した。

4-3-4 品質改善事業の実施<経営研究委員会>

【令和4年度事業計画】

ビルメンテナンス業務における品質管理の徹底と品質改善活動の意欲向上を図り、ビルメンテナンス業の発展を促進するために、次の事業を実施する。

- (1) 品質管理に関する各種講習会
- (2) 品質改善フォーラム（勉強会）
- (3) その他普及啓発活動

(1) 品質管理に関する各種講習会

ア 品質管理基礎コース

ビルメンテナンス業界における品質管理の初学者を対象として実施した。

- 開催日：令和4年9月13日（火）
- 講師：坂技術士事務所 坂 康夫 氏
- 参加数：34名

イ 品質管理実践コース（全2回完結）

職場において品質管理手法を普及、指導する方を対象に実施した。

- 開催日：第1回目 令和4年10月18日（火）
第2回目 令和4年11月15日（火）
- 講師：坂技術士事務所 坂 康夫 氏
- 参加数：16名

ウ 再発防止コース（全3回完結）

ビルメンテナンス業における現場の問題点として、主に「トラブル」、「クレーム」、「労働災害」の3点が挙げられており、これらの諸問題の再発を防止するため、品質管理の手法を用いた問題解決手順を学ぶ講習会を実施した。

- 開催日：第1回目 令和4年12月19日（月）
第2回目 令和5年1月19日（木）
第3回目 令和5年2月15日（水）
- 講師：坂技術士事務所 坂 康夫 氏
- 参加数：20名

エ 品質管理セミナー

品質管理における指標の一つである「性能発注方式（SLA/KPI）」をテーマにセミナーを実施した。

(ア)「性能発注方式（SLA/KPI）導入は「品質管理」が解決します！」

また、この一環として、会員会社より品質管理及び労働安全に対する取組事例の発表があった。

○開催日：令和4年7月15日（金）

○講師：坂技術士事務所 坂 康夫 氏

○発表：東京海上日動ファシリティーズ株式会社

○参加数：86名

(イ) ビルメンテナンスサービスの見える化及び導入と運用

○開催日：令和4年9月21日（水）

○講師：坂技術士事務所 坂 康夫 氏

○参加数：23名

(2) 品質改善勉強会の開催

会員会社が抱える品質管理に関する諸問題について、専門家を交えて解決方法を検討する勉強会を開催した。

○開催実績：第1回 令和4年4月4日（月）

第2回 令和4年5月13日（金）

第3回 令和4年6月10日（金）

第4回 令和4年7月1日（金）

○参加企業：5社

(3) その他普及啓発活動

会員会社が企画する品質管理に関する社内研修等に、ビルメンテナンス業の品質管理に詳しい有識者を派遣する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響から今年度は会員企業より申込が無かった。

4-3-5 労働安全衛生の推進事業の実施＜労務管理委員会＞

【令和4年度事業計画】

労働安全衛生意識の向上、関係情報の提供等を図るために、次の事業を実施する。

(1) 労働安全衛生大会の開催	年1回
(2) 労働災害・無災害企業の募集及び表彰	年1回
(3) 労働安全衛生標語の募集及び表彰	年1回
(4) ヒヤリ・ハット活動報告の募集及び表彰	年1回
(5) 労働安全講師の派遣	年10回

(1) 労働安全衛生大会の開催

ビルメンテナンス業の労働安全衛生の向上・啓発のため、東京労働局、中央労働災害防止協会から来賓を招き、業界の内外に「労働災害の撲滅」に取り組む宣言の場として、大会を開催した。

○開催日：令和4年10月7日（金）

○来 賓：東京労働局 労働基準部 安全課長 小嶋 三喜雄 氏

中央労働災害防止協会 専務理事 渡延 忠 氏

○講 演：安西法律事務所 宮島 朝子 氏（弁護士）

「ビルメンテナンス業における安全配慮義務と企業のリスク対策」

○参加数：73名

労働災害撲滅を啓発するため、ノベルティとして電子メモパッドを800個作成し、大会で配付した。

(2) 労働災害・無災害企業の表彰

労働安全意識の高揚を目的として、無災害記録を達成した会員について、労働安全衛生大会において表彰した。

- 15年間無災害1社 上野ビルサービス株式会社
- 7年間無災害1社 株式会社坂本商会
- 5年間無災害3社 技建開発株式会社、サンプリチビルテクノ株式会社、東京コニックス株式会社
- 3年間無災害3社 朝日管理株式会社、トーシンファシリティーズ株式会社、株式会社ニック

(3) 労働安全衛生標語の募集及び入選者の表彰

労働安全衛生（通勤災害、健康保持増進関連を含む）に関する標語の募集を行い、選考会にて優秀作品を選出し、入選作者を労働安全衛生大会において表彰した。

- 金賞：竹谷 光平 氏（横河東亜工業株式会社）
- 銀賞：小林 友記 氏（新東産業株式会社）
仁科 りみ 氏（株式会社オリバー）
- 銅賞：岩上 輝臣 氏（東京ガスファシリティサービス株式会社）
菅野 善寿 氏（栄和建物管理株式会社）
星 由樹子 氏（東武ビルマネジメント株式会社）

(4) 災害事例・ヒヤリ・ハット報告に伴う改善事例の表彰

入選作の12作品を労働安全衛生大会において表彰した。

(5) 労働安全講師の派遣

社内の安全衛生委員会、安全大会等に労務管理委員会委員を講師として派遣しており、5社の要請に応じて派遣した。

【4 普及啓発と活用の事業】

4-4-1 広報誌の発行＜広報委員会＞

【令和4年度事業計画】

ビルメンテナンスに関連した情報発信のために、次の情報を掲載した広報誌『ネットワーク東京』を発行する。

- (1) 清掃・警備・設備管理等に関する技術・業務・法令等の情報
- (2) 各種セミナー、社会貢献活動等協会事業に関する情報
- (3) ビルメンテナンスの経営・労務・安全等に関する情報
- (4) 総会・理事会・各委員会活動に関する情報等

9月を除く毎月、年11回発行した。各号について以下の特集記事を掲載した。

- (1) 清掃・警備・設備管理等に関する技術・業務・法令等の情報
 - 4月号 新しい働き方「リスクリング」を考えよう
 - 6月号 「カーボンニュートラル時代における省エネ」セミナーから
- (2) 協会事業に関する情報
 - 7月号 ビルメンテナンスフェアTOKYO2022直前特集
 - 10月号 ビルメンテナンスフェアTOKYO2022実施報告
 - 12月号 令和4年度労働安全衛生大会開催
- (3) ビルメンテナンスの経営・労務・安全等に関する情報
 - 5月号 「短時間労働者の社会保険適用拡大」セミナーから

4-4-5 ビルメンテナンスフェアTOKYOの開催<ビルメンテナンスフェア実行委員会>

【令和4年度事業計画】

ビルメンテナンス業界の社会へのPRを目的に、隔年でビルメンテナンスフェアを開催している。前年度は、新型コロナウイルスの感染状況を勘案して中止としたため、当年度に東京都立産業貿易センター浜松町館において代替開催する。 隔年

(1) ビルメンテナンスフェアTOKYO2022の開催

- 開催日：令和4年7月14日（木）～15日（金）
- 会場：東京都立産業貿易センター浜松町館
- 来場者：約2,500名
- 出展社：30社
- テーマ：新常態への挑戦。ビジネス勝機はここから始まる。
- 主な催事：
 - ア オープニングセレモニー（ダルマの目入れ式）
 - イ 特設ブース（サステナブル・ソリューションコーナー）
 - ウ 講演会・セミナー

講演会・セミナー詳細

テーマ	講師	内容	参加数
特別講演	スポーツアナリスト タック川本 氏	メジャーリーグ球団経営に学ぶ 経営戦略と人材育成	30名
建築物衛生管理 セミナー	建築物衛生管理委員会 調査研究小委員会委員 正田 浩三 氏	清掃の見える化 ー特に衛生管理と改善対策についてー (詳細は1-2-1 (3) 参照)	130名
労務管理 セミナー	森井ハラスメント防止 コンサルタント事務所 森井 梢江 氏	パワハラ防止法・危機管理の新局面 ～精神疾患の労災認定基準改正をふ まえて～ (詳細は5-2-1 (1) 参照)	55名
品質管理 セミナー	①坂技術士事務所 坂 康夫 氏 ②東京海上日動 ファシリティーズ株式会社 担当者	①性能発注方式 (SLA/KPI) 導入は 品質管理が解決します！ ②わが社の安全・品質への取組み (詳細は4-3-4 (1) 参照)	86名

※その他出展社セミナーを14社実施

エ バーチャル展示会（会期終了後2か月間）

第5 収益等その他の事業 < 共益事業・収益事業 >

【1 調査及び研究の事業】

5-1-1 海外研修視察の実施 < 総務委員会 >

【令和4年度事業計画】

欧州・北米等におけるビルメンテナンス業の実態視察を目的として参加を募り、海外研修視察を実施する。隔年事業であることから本年は実施年となるが、世界的に新型コロナウイルスの感染が収束しない現状に鑑み、今年度は計画しない。 隔年

計画年度外のため、実施しなかった。

5-1-2 公的助成金等の周知 < 経営研究委員会 >

【令和4年度事業計画】

公的助成金等を会員に周知し、その利用促進を図るために、広報誌に助成金等の情報を掲載する。

広報誌10月号に、経済産業省管轄の「事業再構築補助金」、「小規模事業者持続化補助金」、「ものづくり補助金」や厚生労働省管轄の「業務改善助成金」、「キャリアアップ助成金」「雇用調整助成金」をそれぞれ掲載し、周知した。

5-1-3 要望活動の実施 < 経営研究委員会 >

【令和4年度事業計画】

建築物の適切な維持管理と健全なビルメンテナンス業の育成を図る観点から、東京都等に対して、次の要望活動を実施する。

- (1) 総合評価制度の拡充について
- (2) 契約内容の履行確保と入札参加資格の審査について
- (3) 十分な予算措置及び適正な予定価格の設定について
- (4) 障がい者雇用の促進について

東京都に対し、次のとおり要望活動を行った。

(1) 東京都財務局との意見交換会の実施

東京都へ要望書を提出するにあたり、契約担当部署と以下の通り意見交換を行った。

○実施日：令和4年8月29日（月）、令和5年1月19日（木）

○参加者：東京都財務局経理部契約調整担当課長 他

(2) 東京都知事への要望書の提出

各種団体からの東京都予算に対する知事ヒアリングに参加し、小池都知事に要望書を手交した。

○参加日：令和4年11月24日（木）

○要望項目：ア 総合評価制度の拡充について

イ 十分な予算の措置並びに最低制限価格を導入する場合の協議について

ウ 契約内容の履行確保と入札参加資格の審査について

エ 障害者雇用の促進について

要望の回答は、令和5年4月に都議会会派を通じて届いたが、総合評価案件における入札時期の前倒しの検討(ゼロ都債の活用)、障害者雇用促進(モデル入札案件の実施)など、要望事項への対応は着実に前進している。

【2 教育及び訓練の事業】

5-2-1 労務関係講習の実施＜労務管理委員会＞

【令和4年度事業計画】

ビルメンテナンス業の労務管理の向上、各種労働問題の解決のため、講習会、セミナー、意見交換会等を実施する。 年2回

労務管理技術の向上のために、最新の法改正や雇用情勢への対応を目指したセミナー等を実施した。

(1) パワハラ防止法・危機管理の新局面セミナー

～精神疾患の労災認定基準改正をふまえて～

○開催日：令和4年7月14日（木）

○講師：森井ハラスメント防止コンサルタント事務所 森井 梢江 氏（協会委員）

○参加数：55名

(2) 時間外労働の割増賃金率引き上げオンラインセミナー

○開催日：令和5年3月27日（月）※オンライン配信

○講師：森井労働法務事務所 森井 博子 氏（特定社会保険労務士、協会理事）

○参加数：40名

5-2-2 労務参考図書の作成＜労務管理委員会＞

【令和4年度事業計画】

業界の共通課題や労務管理業務に関連したハンドブック・リーフレット等を作成する。

時間外労働の割増賃金率引き上げについて、わかりやすいQ&A形式の解説リーフレット『ビルメンテナンスの現場で知ってク中小企業の割増賃金率引き上げ』（A4判12ページ）を1,500部作成した。

5-2-3 経営研究セミナーの実施＜経営研究委員会＞

【令和4年度事業計画】

知識の普及や業界の経営改革を先取りした、会社経営に役立つセミナーを実施する。

法改正により本格的な運用が開始する2つの制度について以下のとおりセミナーを実施した。

○開催日：令和4年11月11日（金）※オンライン併用

○テーマ：インボイス制度・改正電子帳簿保存法セミナー

～各制度の解説と対応サービス紹介～

○講師：税理士 白井 一馬 氏

株式会社オーピックビジネスコンサルタント 竹内 伸一郎 氏

○参加数：95名（会場15名、配信80名）

5-2-4 法改正及び関係資料の送付＜労務管理委員会＞

【令和4年度事業計画】

法改正及び労務管理業務に関連した資料を会員に送付し、周知する。

労務管理業務に関連した情報を会員に周知した。

【3 育成の事業】

5-3-1 賃金・契約改定状況の周知<経営研究委員会>

【令和4年度事業計画】

都内における最低賃金の上昇、契約改定率等に関するリーフレットを作成し、周知する。
4～5年ごとに作成しているため、今年度は計画しない。

計画年度外のため、実施しなかった。

5-3-2 業界概括調査の実施<経営研究委員会>

【令和4年度事業計画】

都内ビルメンテナンス会社の動向等調査を行い、今後の協会事業の参考にする。4～5年ごとに調査しているため、今年度は計画しない。

計画年度外のため、実施しなかった。

【4 普及啓発と活用の事業】

5-4-1 各種広報の実施<広報委員会ほか>

【令和4年度事業計画】

協会諸事業の周知を図るために、定期便の発送や記者発表等を実施する。その他、DMの送付等により入会を促進する。

定期便を毎月2回発送し、会員に対して情報の周知を行ったほか、非会員の都内ビルメンテナンス企業763社に対して入会促進DMを送付した。

【5 その他目的達成に必要な事業】

5-5-1 文化スポーツ親睦事業の実施<厚生委員会>

【令和4年度事業計画】

会員従業員の健全な心身の鍛錬に資し、相互の同好者により親睦を図るために、新型コロナの感染状況を見ながら、以下の事業を実施する。

- | | |
|---|-----|
| (1) 野球大会 | 年1回 |
| (2) ゴルフ大会 | 年2回 |
| (3) ボウリング大会 | 年1回 |
| (4) 東京都交響楽団演奏会招待 | 年4回 |
| (5) 都立動物園等招待 | 年1回 |
| (6) 観劇観覧補助 縮小 | 年1回 |

次のとおり実施した。

- (1) 野球大会（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止）
- (2) ゴルフ大会
 - ア 第205回（新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から事業を中止）
 - イ 第206回
 - 開催日：令和4年11月9日（水）

○会 場：茨城ゴルフ倶楽部 西コース（茨城県つくばみらい市）

○参加数：24名

(3) 第6回ボウリング大会

○開催日：令和4年11月18日（金）

○会 場：サンスクエアポウル（北区）

○参加数：28名

(4) 東京都交響楽団演奏会特別招待

	第58回	第59回	第60回	第61回
開催日	令和4年 6月13日（月）	令和4年 10月24日（月）	令和4年 12月24日（土）	令和5年 2月19日（日）
会 場	東京文化会館	東京文化会館	東京芸術劇場 コンサートホール	東京芸術劇場 コンサートホール
招待数	15組30名	15組30名	10組20名	10組20名

(5) 都立動物園等招待

招待園	招待者数
上野動物園	100名
多摩動物公園	30名
葛西臨海水族園	60名

(6) 観劇観覧補助

○開催日：令和5年2月12日（日）

○会 場：JR東日本四季劇場〔秋〕（港区）

○演 目：ミュージカル「バケモノの子」

○参加数：15組30名

5-5-2 防災対策の実施＜財務委員会＞

【令和4年度事業計画】

首都直下型地震等による災害に備え、館内従事者や受講者のための防災用品や食料備蓄の充実を図る。

震災等に対処するため、館内の役職員・受講者等を対象に、水・食糧・毛布・非常用トイレ袋等を備蓄するとともに、賞味期限の近い備蓄食料の入れ替えを行った。なお、賞味期限が近い備蓄食料については、会館防災訓練参加者等に配付した。

○備蓄量：100名分（3日分）

5-5-3 ビルメンテナンス会館管理運営に関する事業の実施＜財務委員会＞

【令和4年度事業計画】

- (1) ビルメンテナンス会館貸室の管理運営
公益社団法人全国ビルメンテナンス協会、一般財団法人建築物管理訓練センター及び全国ビルメンテナンス政治連盟に賃貸する。
- (2) ビルメンテナンス会館の会議室の利用の促進
広報誌等に会議室料金表を掲載し、利用の促進を図る。
- (3) ビルメンテナンス会館の適正な保全・管理運営
次の点に留意し、適正な保全・管理運営に努める。
- ア 会館管理連絡会（当協会・公益社団法人全国ビルメンテナンス協会・一般財団法人建築物管理訓練センターの事務レベル連絡会）の開催による情報の交換
- イ 保守委託契約に基づく適正な管理
- ウ 長期修繕計画に基づく修繕積立及び実施
- エ 会館維持に必要なその他修繕等の実施
- オ 来館者に対する案内板の表示及び会館の環境美化

- (1) ビルメンテナンス会館貸室の管理運営
公益社団法人全国ビルメンテナンス協会、一般財団法人建築物管理訓練センター及び全国ビルメンテナンス政治連盟に継続して賃貸した。
- (2) ビルメンテナンス会館の会議室の利用の促進
会館会議室の利用促進を図るために、会館会議室・研修室利用に関する情報を協会ホームページ、『ネットワーク東京』（掲載回数1回）、『会員名簿』に掲載した。

会議室・研修室利用状況

年度	地下1階	2階	3階	4階
4年度	58.5%	64.8%	65.1%	44.0%
3年度	47.3%	54.7%	56.4%	43.2%
差	11.2ポイント	10.1ポイント	8.7ポイント	0.8ポイント

※利用率の算出方法（日曜・祝日・会館休業日を除外した年間の実利用日数）

- (3) ビルメンテナンス会館の適正な保全・管理運営
テナント各社と会館管理に関する情報交換を行うと共に、管理委託契約に基づく適正な会館維持管理に必要な修繕及び積立、また来館者に対する案内板設置等を次のとおり実施した。
- ア 中期修繕計画に基づく修繕
各種改修工事（1階女子更衣室・給湯室内装、1階・4階会議室・共用部内装、地下1階トイレ、2階洗濯室）、各種更新工事（2階音響機器）、研修室机・イス更新
- イ その他の修繕、補修等
館内通信設備、その他小口修繕工事
- ウ ビルメンテナンス会館の案内板の設置
JR及び東京メトロ 西日暮里駅、並びに会館最寄りの電柱 計4カ所

5-5-4 広聴活動等の実施<広報委員会>

【令和4年度事業計画】

会員の声を広聴するため、必要に応じて座談会やアンケート調査等を実施する。

ピルメンテナンスフェアTOKYO2022の来場者に対するアンケートを実施し、広報誌『ネットワーク東京10月号』にアンケート結果を掲載した。

5-5-5 新年賀詞交歓会の開催<総務委員会>

【令和4年度事業計画】

会員相互の新年を祝う会として新年賀詞交歓会を実施する。

新年賀詞交歓会を開催し会員等の交流・親睦を図った。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者数の制限等を行った。

○開催日：令和5年1月16日（月）

○会 場：ハイアットリージェンシー東京

○参加数：195名

5-5-6 表彰事業の実施<総務委員会>

【令和4年度事業計画】

次の表彰を実施する。

(1) 協会の主催する表彰

ア 優良従業員表彰

優秀な従業員を、会員から1社5名以内で推薦を受け、表彰を行う。

イ 永年勤続者表彰

協会の役員及び委員を誠実に永年勤続した功労者に対し、規則に基づき表彰する。

ウ 慶祝行事としてのお祝い品

還暦を迎えた会員代表者（1名）等に記念品を贈呈し、慶祝する。

(2) 叙勲・褒章・表彰等に関する推薦

叙勲・褒章及び東京都功労者表彰等について、受章候補者及び被表彰候補者を推薦する。

(1) 協会の主催する表彰

ア 優良従業員表彰

会員から優秀な従業員について1社5名の範囲で推薦を受け、「第56回優良従業員表彰式」を行った。なお、式典は創立60周年記念式典と併催し、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、座席の間隔を空ける配置とした。

○開催日：令和4年6月20日（月）

○会 場：東京国際フォーラム ホールC

○被表彰者数：757名（178社）

イ 永年勤続者表彰

役員及び委員を誠実に永年勤続した功労者の表彰を行った。（被表彰者14名）

ウ 慶祝行事としてのお祝い品

還暦を迎えた会員代表者に記念品を贈呈した。（対象者6名）

(2) 国・都・他団体の各表彰への推薦

協会等推薦により次の方が表彰を受けた。

(敬称略)

表彰名	氏名
瑞宝単光章（技能検定功労）	正田 浩三
藍綬褒章（生活衛生功労）	佐々木浩二
東京都産業労働局長感謝状（認定職業訓練功労）	伊藤 聖子
緑十字賞	高梨 義博
公益財団法人日本建築衛生管理教育センター会長表彰	中川 朋之

5-5-7 役員・委員の集い<総務委員会>

【令和4年度事業計画】

今後の協会運営を円滑に進めるために、役員及び委員を対象として懇親を図るイベントを開催する。
今年度は改選の年に当たらないため、計画しない。

隔年

計画年度外のため、実施しなかった。

5-5-8 福利厚生事業の実施<総務委員会>

【令和4年度事業計画】

次の団体扱い保険等に加入できる制度を整備し、会員の福利厚生に資する。

(1) 賠償責任保険

グループ傷害保険（労災保険上乘せ）

(2) その他（全国協会取扱い）

一般財団法人全国中小企業共済財団の生命共済制度、特定退職金共済制度、ビルメンテナンス賠償共済保険、AIUの災害補償制度及び賠償責任補償制度

団体扱い保険等への加入状況は次のとおりである。

なお、グループ傷害保険については、令和4年9月より公益社団法人全国ビルメンテナンス協会の同制度に移行した。

各種保険の加入状況

区分	加入状況
生命災害共済制度、特定退職金共済制度、ビルメンテナンス賠償責任保険、災害補償制度、賠償責任補償制度	62件

5-5-9 名簿等の作成<総務委員会>

【令和4年度事業計画】

会員の交流と利便性の向上に資するよう会員名簿を作成する。

会社名、所在地等を掲載した『会員名簿』を作成し、会員等に配付した。

5-5-10 役員立候補者の資格等審査に関する事項の実施＜役員立候補者資格等審査委員会＞

【令和4年度事業計画】

役員立候補者の資格等の審査に関する事務を適正に実施する。

令和5・6年度役員立候補者の資格審査等に係る準備を実施した。

5-5-11 協会周年事業＜60周年記念事業実行委員会＞

【令和4年度事業計画】

協会創立60周年を迎え、周年事業として以下の諸事業を行う。

(1) 60周年誌の編纂・発行

60周年誌の編纂にあたり、必要な資料を収集し、執筆・編集作業を行う。

(2) 記念式典等の実施

創立60周年を記念し、式典及び祝賀会を実施する。

(1) 60周年誌の編纂・発行

『公益社団法人東京ビルメンテナンス協会60年史』を1,000部発行し、会員企業や委員、関連団体等に配付した。

(2) 記念式典等の実施

協会創立60周年を記念し、「創立60周年記念式典」及び「記念祝賀会」を実施した。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、参加者数の制限等を行った。

ア 創立60周年記念式典（第56回優良従業員表彰式と併催）

○開催日：令和4年6月20日（月）

○会場：東京国際フォーラム ホールC

○主な来賓：東京都知事 小池 百合子 氏

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長 橋本 聖子 氏

東京都福祉保健局健康危機管理担当局長 佐藤 智秀 氏

公益社団法人全国ビルメンテナンス協会会長 一戸 隆男 氏

○出席者数：566名

イ 創立60周年記念祝賀会

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、着席式として実施した。

○開催日：令和4年6月20日（月）

○会場：東京會館 3階ロース

○出席者数：248名

(3) 60周年記念式典における表彰・感謝状（東京都感謝状、協会表彰）

記念式典において、該当者に対し、記念品等を贈呈し表彰を行った。

被表彰者等数：東京都知事感謝状 12名

東京都福祉保健局健康危機管理担当局長感謝状 1名

協会功労役員等表彰 3名

協会永年会員等表彰 399社

(4) 記念品の配付

全会員に対して、記念品（羊羹）を送付した。

Ⅲ 本会の目的を達成するために必要な会議の開催

本会の目的を達成するために必要な会議を次のとおり実施した。

1 総会・理事会

(1) 総会

<p>第12回定時総会 開催日：令和4年6月2日（木）、於：ビルメンテナンス会館</p> <p>以下の議案が提案され、原案通り承認された。</p> <p>第1号議案 令和3年度 事業報告承認の件</p> <p>第2号議案 令和3年度 決算承認の件 － 監査報告－</p> <p>第3号議案 諸規程等の一部改正の件</p> <p>第4号議案 令和4・5年度 役員立候補者資格等審査委員会委員選任の件</p>
--

(2) 理事会

年間合計7回開催した。主な審議内容は次のとおりである。

回数	開催日等	審議内容
第120回	令和4年4月19日(火) (書面同意)	1) 理事職務の継続について 原案通り承認
第121回	令和4年5月10日(火)	1) 入会の承認について 2) 継続入会の承認について 3) 令和3年度 事業報告について 4) 令和3年度 決算について 5) 永年勤続者表彰候補者について 6) 60周年記念式典表彰候補者等について 原案通り承認
第122回	令和4年7月5日(火)	1) 理事職務の継続について 2) 入会の承認について 3) 委員会委員の追加選任について 4) 令和5年度 東京都予算要望 ビルメンテナンス業関係施策について 原案通り承認
第123回	令和4年9月6日(火)	1) 入会の承認について 2) 委員会委員の追加選任について 原案通り承認
第124回	令和4年11月1日(火)	1) 入会の承認について 2) 継続入会の承認について 3) 令和5年度 予算編成方針について 4) 諸規程の改正について 5) 委員会委員の追加選任について 原案通り承認
第125回	令和5年1月16日(月)	1) 継続入会の承認について 2) 諸規程の改正について 原案通り承認
第126回	令和5年3月7日(火)	1) 入会の承認について 2) 継続入会の承認について 3) 令和5年度 事業計画について 4) 令和5年度 予算について 5) 令和5年度 資金調達及び設備投資の見込みについて 6) 第13回定時総会の招集について 7) 委員会委員の追加選任について 原案通り承認

2 三役会・委員会等

会 議 名	開催回数	開 催 日
1 三役会	11回	4/5、5/10、6/7、7/5、9/6、10/4、11/1、12/6、1/16、2/7、3/7
2 総務委員会	11回	4/21、5/25、6/24、8/23、9/22、10/18、11/22、12/15、1/26、2/27、3/28
3 財務委員会	3回	4/19、10/24、1/26
4 労務管理委員会	2回	7/19、12/15
（ア）労働条件小委員会	6回	5/12、8/9、10/12、11/9、1/12、3/13
（イ）労災収支改善小委員会	10回	5/26、6/22、7/27、8/24、9/27、10/26、11/24、1/27、2/21、3/23
5 厚生委員会	2回	7/20、12/9
6 経営研究委員会	1回	12/14
7 広報委員会	6回	4/8、6/8、9/7、10/6、11/8、12/6
8 建築物衛生管理委員会	1回	12/15
（ア）教育研修小委員会	0回	
（イ）調査研究小委員会	8回	4/22、5/24、6/24、7/27、8/31、10/18、11/28、2/2
（ウ）貯水槽管理専門委員会	0回	
9 警備防災委員会	1回	11/29
（ア）調査研究小委員会	2回	7/4、11/7
（イ）研修企画小委員会	2回	6/6、11/16
（ウ）教育研修小委員会	1回	11/24
10 建築物施設保全委員会	5回	5/18、7/26、9/5、12/9、3/14
（ア）技術専門委員会	6回	5/16、7/11、8/23、11/25、1/20、3/6
（イ）品質向上専門委員会	8回	4/13、6/10、7/19、8/31、9/26、11/2、1/18、2/13
（ウ）教育研修専門委員会	6回	5/30、8/5、9/22、10/20、12/26、3/1
11 障がい者等自立支援委員会	1回	11/17
12 役員立候補者資格等審査委員会	1回	1/23
13 倫理委員会	0回	
14 60周年記念実行委員会 記念誌制作分科会	1回	4/8
15 ビルメンテナンスフェア 実行委員会	2回	4/27、8/29
16 監査	2回	4/25、10/25
17 東京地区選出全協代議員会議	1回	7/12
合 計	100回	

（参考）東京地区本部に係る事業等の実績（令和4年度）

1 他地区本部との合同研修会の開催

東京地区本部と関東甲信越地区本部の合同研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から今年度も中止とした。